

校訓	盡己	令和5年度学校通信 「松中だより」 第17号	発行日	令和5年9月27日
教育目標	未来を創造、たくましく生きる生徒の育成 ～地域・家庭とのつながりによる レジリエントな学校を目指して～		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 今井 克己

【体育大会終了】

9月23日(土)第49回体育大会を行いました。今年の猛暑も体育大会前は少し影をひそめ、爽やかな空気の中での体育大会となりました。以下、閉会式での講評です。

「皆さんお疲れ様でした。」

1年生「ケセラセラ」元気いっぱい、一生懸命楽しそうに踊っていました。

2年生の「君とサマー」元氣なかけ声、切れのいいダンスと集団行動を見せていただきました。

「蝶舞勝美」の隠れた意味も聞かせていただきました。ありがとうございました。

そして、3年生。最初で最後の体育大会。松中史上初の3年生の男女合同のダンス、「シルエット」、「学年天国」。夏休みからのダンスリーダーの取り組みとその頑張りによりしっかり応えた皆さん。最高学年としての責任を背負いながら頑張りぬいた皆さんに感動しました。ありがとうございました。

閉会式では「Enjoy 体育大会」と言いました。「みんなの Enjoy」は、言葉は簡単できれいですが、実はとても難しいことです。今日一日「みんなの Enjoy」が達成されていればこれほど愉快なことはありません。みなさんはいかがでしたか？

体育大会は今日で終わってしまいましたが、学校生活は続きます。次の「みんなの Enjoy」に向かってまた頑張りましょう。

最後までご観覧いただきました会場の皆さま、本当にありがとうございました。皆さまのおかげをもちまして、体育大会を終わることができました。今後とも、本校の教育活動にご協力いただきますようお願いいたします。ありがとうございました。」



【体育大会のご感想をお聞かせください。】

第49回体育大会について、参観いただいた保護者の皆様に、ご感想、ご意見をお聞きし、今後の教育活動の改善に活かしていきたいと思っております。お手数ですが下の QR コードを読み取っていただき、ご記入ください。なお記入いただける期間は9月29日(金)までといたします。よろしくお願いいたします。

<https://forms.gle/y48MrRBmtch9VSNV7>



【勉強の仕方】

体育大会が終了し、暑さも終わりが見えてきた感じがします。今回は勉強の話です。

勉強の仕方として

「わかっていないところがあったら、1つでも2つでもいいのでわかるようにする」

ということがあげられます。当たり前のことなのですが、自分自身の勉強を振り返ってみてください。学校の宿題をやっていて、わかるところはやって、わからないところは答えを丸写しにして、なんとか間に合わせて、提出した・・・になっていませんか。「宿題を提出すること」が目的になっていませんか。それはそれで大事なこともかもしれませんが、それで力がつくでしょうか？

「わからないことをわかるにする」ためには、

- ① 「だれかに聞く、質問する」・・・先生に聞く、家族に聞く、友だちに聞く
- ② 「自分で調べる」・・・教科書を調べる、辞書で調べる、インターネットで調べる

などです。個人的には「聞く、質問する。」が手っ取り早いと思います。自分で自分を放っておかないことが大切です。自分自身で動くしかないので。

